

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 理学研究科 修士 2 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 2 日 (月) ~ 8 月 20 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

[応募のきっかけ]

- ・ 短期国際研修説明会、個別相談
- ・ 対面の研修を希望していたが、中止の可能性が高いことから、オンラインで開催される本研修に応募した。

[申し込み等]

- ・ ウェブ上でフォームの入力 (志望動機なども記入)、申し込み書類の提出 (日本語)
- ・ クラス分け面接 (英語)
- ・ Monash アカウント作成など (英語、日本語)
- ・ Moodle や Google docs の使い方の確認

[語学対策]

- ・ 特に何もしなかった。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

[授業]

- ・ 全体を通して、「方法を教わり、実践し、振り返る」ことが多かった。メインは週に一度あるディスカッション。
- ・ ディスカッションの題材となるテキストやレクチャーを用いて、それぞれリーディングやリスニング、ライティングの練習をした。
 - リーディング : main idea の読み取りなど、読解の練習をした。
 - リスニング : main idea の聞き取りや note taking の練習をした。
 - ライティング : 新しく学習した単語や熟語を用いて英作文をした。
- ・ ディスカッションは短くカジュアルなものだが、毎回学生や先生からフィードバックをもらうことができ、次週に生かすことができた。スピーキングの練習になった。
- ・ 題材は screen time や SDGs など世界共通かつ身近な課題を多く扱っており、自分の生活や将来を深く考えるきっかけになった。
- ・ 毎週クラス替えがあり、先生は週に 2 名 (3 週間で 3 クラス、6 名の先生の授業を受けることができる)。クラスメートは大半が日本人だったが、常に英語で話した。

[アクティビティ]

- ・ほとんどのアクティビティで発言する機会があった。
- GCFL 研修参加者向けのアクティビティでは GCFL 研修参加者と話すことになるため、英語のレベルはそこまで高くなかった。
- GCFL 研修参加者向けではなく、Monash College や Monash University の学生が参加するようなアクティビティは、英語のレベルが高く、リスニングやスピーキングに苦戦した。自分の英語力の課題を見つける良い機会になった。
- ・ Mindfulness や Zumba など、あまり大きく知らされていないアクティビティにも参加した。日本にはない、オーストラリアらしさを感じることができた。
- ・ Global Village という AIESEC のイベントで、日本ブースの運営を手伝った。自分の英語がきちんと通じ、私の話に対してオーストラリアの学生がチャットで盛り上がってくれるのが嬉しかった。
- ・ その他にも、Monash University の日本語学科の授業に参加したり、Monash University の学生とペアでビデオ通話をしたりした。

[学生交流]

- ・ クラスメイトや、アクティビティで出会った現地の学生などと、instagram や facebook を教え合った。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

- ・ 強く安定した Wi-Fi は必須。
- ・ パソコンの操作にある程度慣れていた方が良い。
- ・ 時差は 1 時間なので全く問題ない。
- ・ ずっとパソコンに向かっているのは想像以上に疲れるため、授業やアクティビティ以外の時間は意識してパソコンから離れる必要がある。
- ・ 少しでも留学気分を味わうため、研修前に部屋の模様替えをしたが、おかげで留学に集中することができた。

4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

- ・ オンラインでも、アクティビティに積極的に参加すれば、実際に留学しているくらいの満足感を得られると思った。
- ・ 学部生は、興味や目標があれば迷わず参加すべきだと思う。
- ・ 大学院生は、3 週間休むことはなかなか難しいと思うが、興味があればなんとかして参加すべきだと思う。自分自身と向き合う貴重な時間になると思うし、研究活動やその後の人生にも良い影響になると思う。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	12万円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	-8万円	i 留学支援制度
計	4万円	

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 情報学部 3 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

将来の留学を見据えて、海外大のプログラムに参加して雰囲気を感じること、授業への参加を通して英語力を向上させることを目的にしていました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

授業

私は Advanced コースに参加しました。授業は、環境問題やリーダーシップといった題材についての文章や動画などを用いた学習と、それらの題材に関するディスカッションがメインでした。

参加学生はほとんど日本人で、あとは中国人と韓国人が数人いるだけだったので、人によっては少し物足りなく感じるかもしれません。私は英語を話すことがまだそれほど得意ではなかったため、東アジア人で構成されているクラスは英会話のレベルに大きな差がないという意味で物怖じすることもなく、居心地がよかったです。

英語力の向上に関しては、リーディング、リスニング、スピーキングの能力を高めることができました。文章を書く機会はありませんでした。

なお、スピーキングについて、1 クラスには 15 人程度の学生がいましたが、ブレイクアウトルームに分かれて数人のグループで話し合うことが多かったため、話す練習をする機会はたくさんあったと感じます。また、一般的に難しそうなお印象があるディスカッションは、事前に話す内容がある程度決める時間もありましたし、数人で最大 10 分間意見を交わすといった感じだったので、負担はそれほど大きくなかったと感じます。

参加したアクティビティ

私は AIESEC の GLOBAL VILLAGE というイベントに参加しました。

内容はモナシュ大学の留学生の出身国の文化について、ブレイクアウトルームに分かれて解説してくれるというものでした。私はオーストラリアのルームに入って、オーストラリアの食、スポーツなどの文化、先住民であるアボリジニの文化、オーストラリアの SDGs に対

する取り組み、オーストラリアで使われているスラングなどについての理解を深めました。

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

特にありませんが、強いて言えば、十数人が Zoom でカメラオンにして一つのミーティングに参加するので、しっかりした Wi-Fi 環境があったほうが良いと思います。

4. 研修を終えて感じる事&研修申込を考えている学生へのメッセージ

研修を終えて感じる事

今回の研修でオーストラリア、中国、韓国の学生と英語で話してみて、英語が世界共通の言語であり、非常に有用なツールであるということを改めて認識しました。

普段異なる言語を使っている人が相手でも、英語という共通のツールを介することでスムーズに意思疎通することができる。日本人と中国人と韓国人は普段それぞれ異なる言語を用いているのに、同じ言葉で通じ会える。考えてみれば当たり前のことかもしれませんが、このことに気がついたとき、すごく嬉しいような感じがしました。

研修申込を考えている学生へのメッセージ

この研修は、月曜日から金曜日まで毎日 4 時間の授業を 3 週間行うというものです。時間や取り組む内容が決められているので、単純に内容に興味のある人はもちろん、何か強制力があつたほうがと英語学習に取り組みやすいという方にもおすすめできます。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	120,000 円	AUD 1,490(豪ドル)
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	80,000 円	
計	40,000 円	

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 文学部 2 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

将来に向けて英語のスキルアップが主な動機であった。また、本来なら渡航を伴う海外研修に参加するための費用を貯めるために、i 留学の参加を断念しようかと考えたこともあったが、奨学金が利用できるおかげで応募への決心がついた。研修前は、オンライン英会話を自主的に始め、英会話を生活の中に取り込むよう努力した。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

授業に関して

私は、Intermediate に参加した。英会話の基本である相槌や質問、聞き返すなどのよく用いられる定型文を理解し、実践する場面が多く設けられており、役に立ったと感じている。また、英語を用いたプレゼンの機会も設けられておりより実践に近い形で授業が進められていた。とても温かい雰囲気での授業で、積極的に発言することもためらうことなくできた。

ワークショップに関して

自身が興味のある、文化や発音に関しては特に参加するよう心がけた。授業とは違い、よりネイティブとの会話に近い環境で学生同士交流することができた。初めは聞き取ることも難しい場面があったが、次第に理解できるようになった。学生同士も優しく会話を投げかけてくれるため、とても安心できる空間だった。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

有線のマイク付きヘッドフォンだととてもスムーズに授業ができると感じた。特に、マイクの影響で音が聞き取りづらい生徒が何人かおり、ペアワークが困難な場面があった。しかし、概ねよい環境で受講できた。

4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

私自身、渡航を伴う留学を考えていたため、i 留学でスキルアップができるのか疑問に感じている部分があった。しかし、実際に参加してみると、自身の課題が浮き彫りになり、それに対してきちんと実践の場が設けられているため、スキルアップに繋がると実感できた。また、スキルアップだけではなく、自身のキャリアや異文化理解などについても触れる時間が多く、

語学以外でも気づきや学びが多く得られた。奨学金の対象にもなり、格安で留学のような機会を得ることができるため、ぜひ研修を検討してほしいと思った。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	12万円	奨学金により8万円援助
その他（通信費など）	0円	大学のオンライン授業と同じような環境で参加した
奨学金・協定校割引	8万円	
計	4万円	

6. 自由記述欄

- ・同じ学生と何日も顔を合わせるため、仲良くなることができる。国内外の関わりを広げるにはとてもよい機会だと感じた。
- ・自己紹介で、各自写真を提示しながら紹介する授業があったが、国によって文化的背景が違うため、とても興味深いと感じた。自分たちが当たり前だと感じていることをそうたらしめているのは、同じ文化を共有しているからなのだと強く感じた。
- ・授業以外でも Moodle に教材が提供されており、自主学习でも困らないためありがたいと思った。
- ・ただ、渡航していると、授業後の時間も継続して英語を利用し、そこでできた友達と仲を深める時間があったらと思う。そう思うと、同じ期間オンラインで研修を行ったとしても渡航を伴う研修と同等の成長が得られたか考えると少し疑念が残る。しかし、予想していたよりも雰囲気も明るく、心地よくオンラインでの留学ができたと思う。

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 工学研究科 修士 2 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 2 日 (月) ~ 8 月 20 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

1. 応募動機
英語でのコミュニケーションスキル向上、将来グローバルに活躍するための 1STEP (スキル向上、異文化理解等)、海外渡航留学前の 1STEP
2. 申し込み手続
留学支援室に個別相談、説明会参加、事前参加、各種申込手続、本支援制度申込
3. 語学対策
オンライン英会話教室、英会話講義受講、TOEIC 受検

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

1. 授業の内容 (Intermediate) と感想
内容: Preferences / Catching up / Body language / Communicating with colleagues / Online meetings / Clarification / Complaints / Debating / Communicating with influence / Teamwork / Telling stories / The news / Opinions / Networking / Business pitches
感想: 特に学んだことは「相手をリスペクトする重要性」です。日本での日常では当たり前でない多様性 (文化、価値観等) と、それらに対する受容性 (リスペクト) の大切さを、留学を通して強く感じた。
2. 参加したアクティビティやワークショップ
オーストラリアでの英語発音を学ぶ講座、オーストラリアの文化・価値観を知る講座、音楽を通してコミュニケーションを学ぶ講座、リーダー講座、オーストラリアでの就職活動講座、日本語講座、パートナープログラム、オンラインゲーム等々
3. 学生交流
授業・アクティビティ・ワークショップ内での交流、SNS での交流、留学後にも繋がるパートナープログラム等々

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

1. オンライン履修環境
ZOOM を用いた授業、Google ドキュメント等で資料共有
2. 時差と健康管理
日本とオーストラリアの時差は 1 時間。時差による私生活への悪影響なし
3. 準備して良かったもの等
モノではありませんが、英会話スキルが乏しいなりに「事前に英語を話す事への慣れ」のおかげで、留学 1 日目からの英語への抵抗をあまり感じなかったです。

4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

1. 研修を終えて感じる事
オンラインだからこそその良さもあるのだと感じました。（様々なグループでワークができる、資料の共有だけでなく、書き込みもできるので、意見共有が簡単等）
一方、現地で、直接自身の肌で異文化を感じたいと強く思いました。
2. 研修申込を考えている学生へのメッセージ
 - ・費用面で不安を感じる必要はありません。
 - ・対面留学への 1STEP としてオススメです。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	約 121,500 円	授業料
その他（通信費など）	0 円	
奨学金・協定校割引	80,000 円	i 留学支援金制度申請が承認された場合
計	約 41,500 円	

6. 自由記述欄

・事前に連絡されるアクティビティ・ワークショップ以外で、現地クラブ主催のもの等、比較的直前に知らされるものも多いので、留学期間は授業後の予定を事前に埋めすぎないことをおすすめします。（授業は平日 14:30 に終了）

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月
所属 | 情報学部 3 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募した動機は、1 年間の交換留学に向けて英語力を維持、向上したいからであった。
(交換留学したい動機は割愛する。)

私は 3 年生から 1 年間の交換留学に向け、1 年生の春休みにオレゴン大学研修に参加し、英語力をかなり上げることができた。

しかしコロナ禍で交換留学に参加することが難しくなり、英語学習へのモチベーション維持も難しかった。そこで長期休みに、留学室の研修制度を利用して、周りの学生と切磋琢磨しながら英語学習しようとするようになった。

そして、2 年春に IELTS 講座を受け、今回は英語学習の中でも「国際社会で活躍できるリーダーを育成する」を謳うモナシュの研修に参加することとした。これは自分も世界基準で活躍できる研究者や教育者になろうと考えているからである。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

【授業の内容】

授業では、社会問題とその対処法について知識を入れたり、話し合っって考えを深めたりすることが主だった。具体的なトピックには、ファストファッション、海の汚染、未来のあるべき都市などがあった。

参加者には日本で優秀な大学に通う学生と、韓国の学生がいた。

個人的には知識として持っているトピックが多く、良くも悪くも、あまり苦も無く内容理解ができてしまったと感じる。

しかし、自分の専門とは違うこともあり、普段なかなか学べない内容だったし、参加者のレベルも高くて刺激し合える環境だったため、総じてよい機会であった。

【アクティビティ】

日本語を学んでいるモナシュ大生との交流機会がたくさんあった。

あるクラスでは、日本の宗教行事について話す必要があり、自分の知識の無さに初めて気づくことができた。

今まで正直言うと日本文化が身近すぎて、あまり興味を示していなかったが、外国人に説明するためにももっと知識を持ちたいと思った。せっかくの話題が、自分の知識不足で全く盛り上がりせずに終わるのは避けたい。

【学生交流】

モナシュ大生 1 人と日本の学生 1 人が割り当てられて、週 1 回交流している。オーストラリアの多文化さについて理解を深められたのは、この交流のおかげである。元々オーストラリアについてはほぼ知識がなかったが、多様な文化や人が共存していること、どううまく社会を回しているかを知り、日本にどう活用できるかを考えることができた。文化以外にも、大学生活や進路について話すことができた。彼女とはもっと仲良くなり、関係を続けていきたいと思う。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

授業中の通信には特に問題はなかった。zoom を用いた授業で、グループワークが多いため、ブレイクアウトルーム機能を多く使った。ブレイクアウト時に、対面に比べると、先生がすぐにアドバイスが出来ないのだろうなと感じた。授業外について、多くの連絡がテキストで送られてくるため、情報処理が大変だった。また、対面授業 (オレゴン研修に参加した時) に比べると、リーディングの時間が長いと感じる。声を出すため、自分の部屋などでないと研修は受けられない。

4. 研修を終えて感じること & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

概ね予想通りの研修となった。英語学習はある程度できたし、モチベーションも高まった。反対に、オーストラリア文化などについてはそれほど深く触れて、考えることはできなかった。一点、自分にとって予想以上に辛かったのは、家に閉じこもって学習することだった。自分は普段勉強するとき、図書館やカフェなどに行くが、この研修中はそれができなかったのも、いつもの環境になかなか慣れなかった。

「オンラインでも異文化交流がしたい」という希望はあまり持たずに行く方が良いと思う。自分は全くその考えなしに参加して、想像以上にオーストラリア文化を知ることができたので良かった。(そのためには、学生との交流機会に積極的に参加する必要がある。授業内だけではなかなか異文化交流はできない。)

反対に、英語学習をしたい人や、社会やキャリアについて知り、考えたい人はぜひ参加すると良いと思う。オンラインであれば安く気軽に参加できるし、どちらも日本の講義ではあまり触れられないが、ほとんどの学生が考えるだろうことだからだ。特に大学 1 年生は、このような考えをなかなか持つ機会が提供されないが、今後とても重要になるので、迷っているな

ら参加するべきだと思う。

対面であれば、これらにプラスして、文化についても深く触れられるため、私なら参加するだろう。

オーストラリア文化は異文化受容やその歴史が日本とは大きく異なっており、今後の日本社会形成の参考になるため、いい学びができると感じる。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	約 12 万円	オーストラリアドルなので若干の誤差があります。
その他（通信費など）	0 円	余分にお金を払うことは無かったです。
奨学金・協定校割引	8 万円	まだ分らないですが、一応書いておきます。
計	4 万円	予定です。

6. 自由記述欄

視覚情報が無いのは寂しいので写真を添付します。

私は旅行が好きなので、日本に興味のあるモナシュ大生たちに次のプレゼンテーションを5分ほどしました。予想以上に好評でよかったです。

これはモナシュ大の研修に限りませんが、「非言語」で通じ合えるような趣味を見つけておくことがとても大事だと思っています。

例えば、このプレゼンでは、「写真」でした。美しさを感じることは非言語で通じ合えることだと思います。

また、自分は、アメリカに交換留学に行こうと思っているため、バドミントンを習い始めました。アメリカはスポーツがさかんなので、スポーツができるとなにかしらのコミュニティに所属してそこから人脈を広げていきやすいと考えています。

この報告書がみなさんのより良い生活に役立ったら幸いです。

Japanese tourist spots

From famous places to unfamous and my favorite places

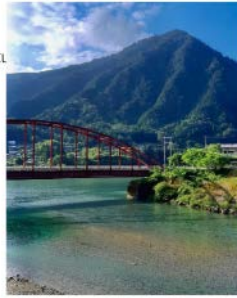
What do you come to your mind when you hear "Japanese tourist spots"?

1. Deer
2. Nagano
3. Whirlpool
4. Kamikouchi
5. Colorings in the leaves

Aterakeikoku In Nagano
~Beautiful countryside with great nature~

阿寺溪谷 Atera canyon

- Turquoise blue



Kamikouchi in Nagano
~Untouched beautiful nature~

上高地 Kamikouchi

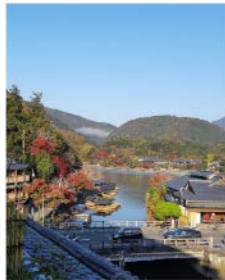
- Keep changing the scenery



Arashiyama in Kyoto
~Colorings in the leaves~

嵐山 Arashiyama

See you in Japan after the pandemic!



Nara Park in Nara
~A Big city living with deer~

興福寺 Kofukuji temple

- World Heritage sites
- Deer living in a big city with people



Onaruto Bridge in Tokushima
~One of the biggest whirlpool~

大鳴門橋 Onaruto bridge

- Whirlpool cruise



Kiyomizudera in Kyoto
~Colorings in the leaves~

清水寺 Kiyomizudera temple

- World Heritage Sites
- Many shops of sweets such as Green tea or something Japanese culture



i 留学 研修報告書

記入 | 2021年 9月

所属 | 経済学部 1年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	8月9日 (月) ~ 8月27日 (金) 3週間

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

・ 応募の動機

私は将来、国境を越えて世界中で活躍できるような人材になっていきたいと考えているが、このような人材となるための英語力、知識、経験のいずれも足りていないため、このプログラムに参加することで、英語力の向上を図るだけでなく、異なる文化や価値観を持つ人々と積極的に関わり、異文化理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図っていきたいと考えていたから。

・ 申込手続

1. プログラム概要の確認
2. プログラム説明会に参加
3. 履修願の提出 (WEB 登録)
4. 応募書類の提出

・ 語学対策

研修が始まる前から Monash College が開発しているオンラインプログラムに参加することで、リスニング力やスピーキング力を鍛えた。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

・ 内容と時間数・形態

毎週月曜日から金曜日の 9:30 から 11:30 までと 12:30 から 2:30 まで授業

授業後や研修終了後にもいくつかのアクティビティに参加

・ 授業の感想

授業では、様々な状況における適切な話し方や様々な国のエチケットなど実際に海外に行ったときや外国の方と話すときに必要なことについて学べたため、非常に実用的で良かったと思う。また、授業では自分の意見を考えて話すことを中心にしており、授業を担当して下さる先生や授業自体の雰囲気がとても良かったため、初めは英語を話すことに不安や抵抗感があったが、次第に慣れていき授業にとっても楽しんで参加することができた。

・ 学生同士の交流

授業には日本人だけでなく韓国の方も数名参加していたため、グループワークなどで話した

り、連絡先を交換したりすることもよくあった。また、このプログラムは授業外のアクティビティも豊富なため、モナシュ大学の学生と話す機会が多くあり、いろいろな考えや価値観をもった方々と話せて非常に興味深く、また楽しかった。

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

・オンライン履修環境

私の家はオンライン履修環境が整っていたが、2回ほどインターネットとの接続が切れてしまう時はあった。しかしその後すぐに授業に戻ることができたため、あまり大きな問題にはならなかった。

・時差と健康管理

時差は1時間しかないため何も問題は無く、また健康面に関しても問題は無かった。

4. 研修を終えて感じること&研修申込を考えている学生へのメッセージ

研修申し込みを考えている学生の中には、英語力の向上を目的としている学生も多いと思います。この研修を通して、私の英語力は確かに向上しました。しかし、研修で得られるものは英語力だけではありません。授業や普段の生活、さらには社会に出たときに役に立ち、必要とされるものが非常に多くあります。留学をしたいと考えているけれど、このコロナ禍でできないという人は多くいると思います。オンライン留学は確かに現地には行けないため、ホームステイや観光などはできませんが、それ以外は普通の留学と何も変わらず、オンラインだからこそ気軽に参加しやすいという利点もあります。留学をしたいと考えていたり、将来グローバルに働きたいと考えていたりするのならば、むしろオンライン留学という機会を利用しないほうが損だと思います。もし自分が今変わりたいと思っているのならば、ぜひ参加してみてください。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	120,000 円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	80,000 円	
計	40,000 円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

授業外のアクティビティにはモナシュ大学で日本語を学んでいる学生の方々と交流する機会も多くあります。日本の文化や日本語を学んでいる外国の方々と話せる機会はめったになく、また新しい日本の魅力やオーストラリアで広がっている日本の文化、オーストラリアと日本の共通点や相違点などを知ることができたため、とても興味深く面白かったです。

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 文学部 1 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけ: 1 年間の交換留学をしたいと考えていたのだが、海外留学室の個別相談にて、足がかりとしてこの研修を紹介してもらったことがきっかけだった。

動機: 英語は得意とは言えず、現在の英語力では全く交換留学に挑戦できるレベルに達していないと感じていたため、この研修で英語力を向上させたり、積極性を高めたりしたいと思い応募した。また、単位が取得できるというのも魅力的だった。

語学対策: 特に行わなかった。事前にクラス分けインタビューはあったが、Monash College の先生との会話を楽しめるものだったため、あまり緊張しなかった。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

授業: 3 週間の研修では毎週クラス分けが行われ、先生も週に 2 人が担当になっているため、様々な人と交流できた。内容としては社会問題についての記事や論文、音声、動画などを使用して、語彙を覚えたりディスカッションをしたりするのが中心だった。うまく話せなくても伝えようとすれば意外と伝わり、楽しく授業を受けることができる。宿題についてはあまり出されず、心配するほどではないが、より深くトピックを理解するには授業の復習はするべきだろう。

アクティビティ: 自分のスケジュール的にあまり参加できなかった。参加したのは、発音のワークショップと、音楽のワークショップだ。どちらも講義形式の中で少しディスカッションを挟むというものだった。特に発音のワークショップは参考になったが、やはり聴くだけではどうにもならないので、練習を重ねることが一番の近道だと感じた。

学生交流: 自己紹介を必ず週の最初に行ったので、授業の中では比較的にカジュアルに会話できた。しかし、授業外での交流はなかった。オンラインなので、授業が終了したら退出してそこで終了してしまう。対面ならば授業後におしゃべりしたりできたのかなとも思い、そこはオンラインのデメリットだと思う。ただ、連絡手段が一切ないわけではなく、互いのメールアドレスはわかっているので、交流しようと思えばいくらでもできるはずだ。私にはその積極性がなかったので反省点である。

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

自宅のインターネット回線が良くないのか、度々通信障害が起きた。しかし、そこまで気にはならなかった。
傍らに辞書を置いておくと何かと便利だった。

4. 研修を終えて感じること&研修申込を考えている学生へのメッセージ

全体を通して楽しい研修だったと感じる。しかし、英語力が向上したか、といわれると少し疑問が残る。確かにスピーキングの能力については、英語で話すということに対して、失敗する恐怖はなくなり、上達の第一歩としてはとても良かったと思う。しかし、土台の英語力が足りておらず、自分の言いたいことをどう英語で表現すればいいのか考えているうちにディスカッションが違う話題に移っているという状況も多々あった。また、ディスカッションはブレイクアウトルームで行われるのだが、3, 4人のグループの中では自然と話を進めるリーダーができる。個人的には、このリーダーになれるかどうかが充実度に関わるのではないと思う。私の場合、なんとか話を進められるようになると努力はしたが、他のメンバーの流暢さに圧倒されてしまうことも多かった。

今回の研修で最も大きな収穫だったのはモチベーションだ。自分の性格は、何につけても長続きせず、コツコツとやるのが一番苦手なのだが、今回の研修では同じ年代で自分より遙かに英語ができる人たちに大勢出会い、自分の性格を言い訳にせず、もっと英語を勉強しなければ、というモチベーションにつながった。

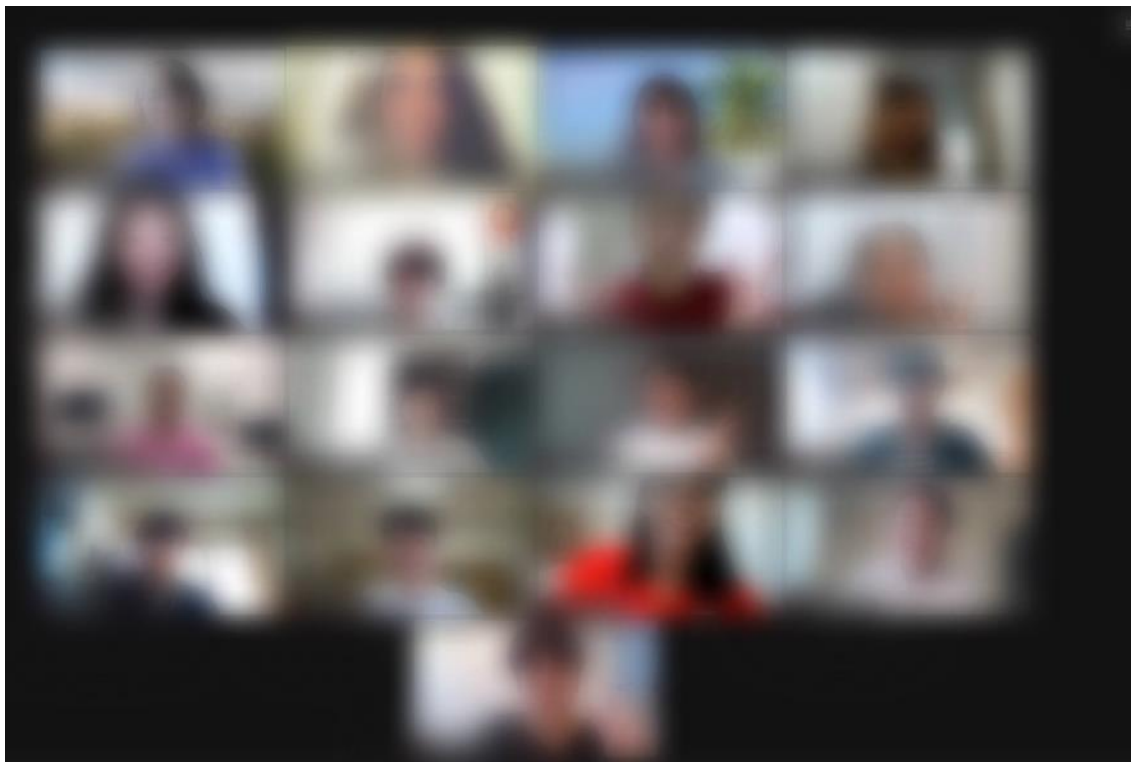
一つ残念だったことはクラスがほぼ日本人だけだったことだ。韓国人の方が数人いたが、最後の週に至っては韓国人の方 1 人を除きすべての生徒が日本人だった。他の国の方との文化交流も楽しみにしていたため、少し残念だった。

研修申込を考えている人には、この研修は自分の現状を知ること、モチベーションを高めることについてはとてもいいと思うのでおすすめしたい。しかし、この研修を受ければ英語力が上がるということはないので、英語力向上には自分の努力が不可欠だということを理解しておいてほしい。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	約 120,000 円	1,490 オーストラリアドル
その他（通信費など）	0 円	
奨学金・協定校割引	80,000 円	i 留学支援制度(予定)
計	約 40,000 円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。



授業最終日のスクリーンショットです！

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月 13 日

所属 | 経済学部 1 年生

研修先大学 (国名)	オーストラリア
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders (GCFL)
研修期間	8 月 6 日~8 月 27 日

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

私は、大学在学中に直面留学に行くことを想定して、自分の英語スキルを向上させることを目的としてこのプログラムに参加しました。申込みの手続きを済ませた後は、オンラインでもスムーズに英語での交流ができるように、基本的な英文法を押さえ直したり、モナシュカレッジが提供しているアクティビティに事前に参加したりしました。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

平日 4 時間(9:30-11:30/12:30-14:30)授業を行い、授業後にもモナシュカレッジが無料で提供している発音のワークショップなどのアクティビティに参加することができました。

また、毎週クラスのメンバーや先生が替わるため、様々な人たちとの交流が可能だったと思います。

授業は主に、Google drive を用いて行われたため、Google documents や slide を使う機会が多かったです。週の始めにはアイスブレイクの時間が多く設けられ、その後はブレイクアウトルームに分かれ、授業の内容に沿って意見をシェアしたり、10 分程度のディスカッションやプレゼンテーションを行ったりしました。

最初に述べたように、先生やクラスメイトが毎週替わるため、色々な考え方や価値観に触れることができたため、オンラインではありましたが視野を広げられる経験ができたと感じています。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理準備して良かったものなど)

オンライン環境はおおむね良好でしたが、時々インターネット接続が不安定になり、活動が中断してしまう事がありました。

対面でなく、zoom を使ったオンライン留学だったことで、自分からは話しかけることのない人ともブレイクアウトルームで交流できました。対面だと、自分と似た興味を持つ人と話しがちだと思うので、ランダムに様々なバックグラウンドをもつ人たちと話す機会が得られたのはとても貴重だったと思います。

4. 研修を終えて感じる事&研修申込を考えている学生へのメッセージ

研修を終えて思うことは、このプログラムを通じて、英語のスキルが向上しただけでなく、精神的にも成長できたなということです。研修前にはあまり英語を話す機会がなかったこともあり、自分のスピーキング能力に自信がありませんでした。しかし研修の中で、他のクラスメイトの方が積極的に英語で意見を伝えようとする姿勢に刺激を受けたり、クラスメイトから私に対するポジティブなフィードバックを得てどんどん自信をつけていったりと、何事も恐れずにチャレンジする精神を学ぶことができたと思います。3週間の研修だけでは、飛躍的な英語のスキルの向上は実現できませんでしたが、これからも語学学習を継続していくためのモチベーションが得られました。

研修前に掲げる目標は人それぞれ異なるため、この研修では人によって異なる経験ができると思います。私の場合は、「英語のスキルの向上」で、研修のなかで、向上のためには「チャレンジ精神＝積極性」が鍵となってくることを実感するという経験ができました。研修前の目標設定が、このオンライン留学をより有意義なものにすると思うので、申込みを考えている方は是非、なぜ参加したいのかを明確にし、研修中に何度も目標を確認すると良いと思います！

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	125,000円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	80,000円	名古屋大学i留学奨励金制度
計	45,000円	

6. 自由記述欄



←授業最終日

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月
所属 | 法学部 2 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

英語を英語で学ぶという点と、また週 5 日で 1 日 4 時間以上としっかりしたプログラムが組まれているという点に魅力を感じ応募しました。

研修前の語学対策としては、AI と会話できる英会話アプリ、hello talk といった海外の方とチャット等でやり取りできるアプリ、また単語帳や TOEIC 対策のような英語学習本を使って勉強していました。しかし、検定や受験で使うような本を使って勉強したことに関しては、実際に英語を使って話すというこの研修にはあまり役に立たなかったなと感じました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

アクティビティ含め授業は本当に楽しかったです。生徒は常にマイクとカメラをオンにしなければいけなくて、どんどん発言することを求められました。発言してたとえ間違えたとしても受け入れてくれて、英語が下手でも自分の意見を述べたり、質問したり会話を広げていくとすごく褒めてもらえるような環境でした。

授業内容は、ビジネスに関して、上手に交渉する方法やディスカッションの際に重要な英語などを学びました。ペアでロールプレイをしたりクラス全体やグループでディスカッション、ゲームをしたり、グループでプレゼンをしたりしました。すべて楽しかったし、とにかく話す機会が多かったです。

授業でもアクティビティでも生徒間で話すことが多かったので、学生交流はかなり行われていたと思います。実際に私も Monash university と Monash college の生徒を合わせて 20 人ほどの人と連絡先を交換しました。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

オンライン環境に関しては家に WIFI があったので困ることはなかったです。ただ、クラスメイトの中には自分のプレゼン中や発言中に回線が落ちてしまっている子もいました。

ブルーライトカット眼鏡が意外と役に立ったなと思います。何時間も画面を見続けなければいけないので目が痛くなります。

健康管理のためと、アクティビティに参加するため、研修期間中はバイトの予定や他の遊びの予定をなるべく入れないようにしました。英語勉強するためと研修に集中できるようにするためです。そのおかげか体調が悪くなったりすることは、一度もなかったです。

4. 研修を終えて感じる事&研修申込を考えている学生へのメッセージ

この研修に参加することは本当におすすめです。参加して、英語力が伸びるのはもちろんのこと、自分に自信もつくし海外の友達も増えて研修に参加する前とは随分違う自分になれるような気がします。英語力に自信がない人でも、Monashの先生は本当に優しいし、温かい雰囲気のカラスを作ってくれるので、ぜひ参加したほうが良いと思います。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	134,897 円	
その他（通信費など）	0 円	
奨学金・協定校割引	80,000 円	
計	54,897 円	

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 文学部 2 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

夏休みに海外短期研修を考えていましたが、コロナもあってできなかったもので、i 留学をしようと思いました。GCFL にしたのは、自分の英語を用いたコミュニケーションの力を向上させることができるのではないかと考えたからです。

申し込み後、授業が始まる前に、モナシュ大学のアカウントの設定など、情報管理を正確に行う必要があり、メールチェックはかなり重要でした。私は、上手くアカウントが設定できず、モナシュの IT 課 (?) に直接電話をかけ、つたない英語で必死に説明し、担当者さんの根気強く優しい対応のおかげでなんとか設定できました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

私はアドバンスドのクラスで授業を受けました。SDGs に関連するテーマ (過密都市、生物多様性、ファストファッションなど) について、グループディスカッションを行ったり、リーディングをしたり、軽いプレゼンテーションを行ったり、というのが主な活動でした。参加した最初の 3 日間くらいは、クラスメイトが英語上級者であったので本当に緊張して、言葉がうまく出てきませんでした。思い切って話してみたら、先生やクラスメイトが温かく聞いてくれました。とても良い雰囲気の中での授業でした。

私は積極的にモナシュ大学生のクラブ活動に参加してみました。授業とは異なって英語は聞き取りづらかったですが、現地の学生とのよい交流の機会であったと思います。

また、アイサックのワークショップでは、自分の将来について他国の学生と話すことができ、自分をみつめる機会になりました。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

一日中パソコンをみつめているので、ブルーライトカットのめがねが役に立ちました。それでも目や身体が疲れるので、積極的に休めていました。

4. 研修を終えて感じる事&研修申込を考えている学生へのメッセージ

研修の途中で思い切って話してみようという方向に舵をきいて、本当によかったと思います。授業に主体的に参加してこそ、よい経験となったと思います。チャレンジしてみる事、気負いすぎないことを学びました。

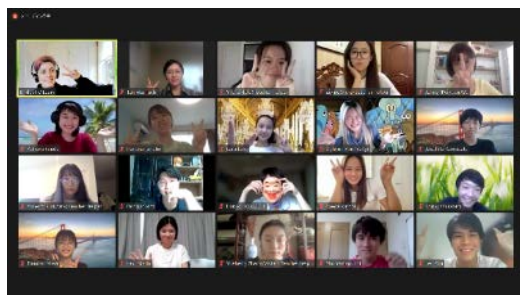
研修申込を考えているみなさんへ。GCFL の 3 週間は意外と長いです。せっかくの夏休みですから、3 週間で他にもできることはあります。ですが、英語を使いたい、勉強したいという方にはすごく良い時間になると思います！

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	約 12 万円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	8 万円	おりれば
計	4 万円	

6. 自由記述欄

モナシュの先生方はとても優しくておもしろかったです。リラックスして発言できるような雰囲気を作ろうとしてくれました。とても感謝しています。オーストラリアの話をしてくれて興味深かったです。オーストラリアのお父さんはコーヒーにうるさいだとか、オーストラリアの男子学生も合唱の時間に恥ずかしがって歌わないだとか、そういった話も聞けました。



i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 文学部 1 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 11 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

長期の海外留学に興味があり、英語力を向上させ、国際的な視点を持てるようになりたいと思った。書籍やインターネットを利用して学習することも多かったが、実際にコミュニケーションをして実感を伴った体験をしたかった。また、コロナウイルスのパンデミックの状況の中、外国で学ぶ新しい選択肢として出てきたオンライン留学というものを体験してみたかった。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

研修の授業には日本と韓国から学生が参加しており、日本の学生の割合が 8 ~ 9 割を占めていた。持続可能な社会の実現に向けてトピック別に分けて考える授業だった。毎週決まった曜日にディスカッションやロールプレイをした。クラスは 15 人程度で毎週変わった。頻繁に 2 ~ 4 人程度のブレイクアウトルームに分かれて話し合いを行った。先生によっては簡単なゲームを授業のはじめに行った。コミュニケーションが重視される授業だったので、英語や環境問題に関する知識や学力ではなく積極的な姿勢が重視されると同時に、授業のなかで趣味の紹介や、部屋の中にあるものの紹介、昼休みに写真をとってきてシェアするなどみんなで楽しめるものになっていて大変面白かった。Perfect pronunciation という授業外ワークショップに参加し、英語を話す上での音節の大事さがわかった。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

普段の授業で使っているスピーカー付きのパソコン
時差は 1 時間だったので生活を大幅に変える必要がなく、研修期間中も過ごしやすかった。Monash の授業で使う教材は全てオンライン上にあっためパソコンの画面を覗く時間が普段のオンライン授業よりも長くなった。お昼休みを挟むとはいえ 4 時間ずっとパソコンを見ていたので研修の最終週あたりでは肩と首が凝っていた。机と椅子を丁寧に選んでおけばよかった。

4. 研修を終えて感じる事と研修申込を考えている学生へのメッセージ

英語が一つではないのだとわかった。今までアメリカの英語を中心に聞いてきたが、今回の研修ではオーストラリアのネイティブの英語、日本人の話す英語、韓国人の話す英語、中国人の話す英語を聞いた。研修では積極的な発言をすることで研修を最大限活かすことができると思う。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	1490 ドル	（オーストラリアドル 1490 ドル）
その他（通信費など）	0 円	特別に用意した機材などはなかった
奨学金・協定校割引	円	
計	1490 ドル	

6. 自由記述欄

オンライン留学では英語を使って勉強するという事は十分にできたと思う。生活リズムを大きく変えることなく参加できるので海外経験のない私にとってはストレスなく楽しめる留学形態だった。また、画像をシェアしあい共有されたスライドで共同作業を行うなど、オンライン環境を生かした授業を受けられたことは新鮮で良かった。これらのことは対面授業でも取り入れることができると思った。

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月 6 日

所属 | 経済学部 1 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 28 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

大学で、交換留学に行きたかったのも、より英語に触れる機会が欲しかったことと異なる文化に触れることで、視野を広めたかったことを理由に GCFL に参加しようと決めました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

授業では、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングに加え、ディスカッションやプレゼンを行いました。ブレイクアウトルームや画面共有など、今後使えるスキルも身につけることができました。自分から意見を言うことは、私にとって苦手なことでしたが、少しでも自信がついたのではないかと思います。アクティビティも積極的に参加しましたが、その中でも Global Virage というたくさんの国によるワークショップの中で、日本のブースを担当したことが力になりました。短い期間の中で、何度も打ち合わせをしては、ダメ出しをされ、どうすれば楽しんでもらえるか、工夫して作り上げたプレゼンは、改善点は多かったです。最高のものでになりました。プレゼンでは、友人との会話のように進め、話しかけること、全員に参加してもらうこと、自分も楽しむことが重要だと学び、英語は伝えるためのツールに過ぎず、多くの人と交流していくことで身につけることができるとアドバイスしていただきました。このアクティビティが本当に楽しくて、苦手だったプレゼンをもっとやりたいと感じるようになりました。

また、オーストラリアの人だけでなく、日本、韓国、中国など様々な文化の人との交流で、リスペクト精神の重要性を学び、たくさんの素敵な出会いを手に入れることができました。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

Wifi がうまくつながらないと、ズームに入れなかったり、音が聞こえなかったりと焦ることがありました。発言することが多いので、静かな環境を家の中で探すことも難しい時もありました。

時差は、1 時間しかないので授業は難なく受けることができました。ただ、オンラインだとな

かなか外に出ることが難しく、画面を凝視するので、普段以上に疲れる日もありました。

4. 研修を終えて感じること&研修申込を考えている学生へのメッセージ

いろんなバックグラウンドを持った、いろんな国の人との素敵な出会いがあり、毎日新しいことの挑戦で、いい刺激を受けました。

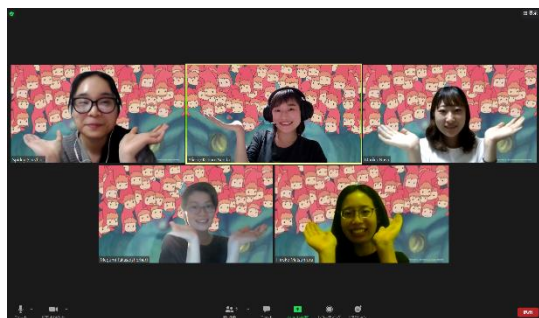
なかなか思った通りにできなくて、話せなくてオンラインという誰にも近くでの助けを求めることができないと苦しいこともありましたが、本当に一日が濃くて、楽しかったです。現地には行けなくても、オンラインでは、また違った学びができ、思わぬ収穫があります。ぜひ、挑戦してみてください。楽しんで！

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	¥127,517円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	¥80,000円	
計	¥47,517円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

アイセック主催の Global Virage では 5 日という短期間で、クイズやプレゼン、動画など盛りだくさんのブースを準備しました。アイセックの方と何回も打ち合わせし、メンバーと作っていきました。kahootというクイズのアプリを使って、日本についての知識のクイズを細かく準備したにも関わらず、もっと自分たちにしかできないブースにしたいと、大ダメ出しを受け、初めから作り直しました。時間も迫ってきていたので、夜中まで、メンバーと会議し、自己紹介のような形式で、個人について語りながら日本を伝えるようなプレゼンに作り変えました。授業もあったのに加え、コロナワクチンの副作用で、高熱にうなされ、大変でしたがその分達成感もすごく、ほんの5日前までは会ったことの無い人たちと力を合わせて作っていく過程が本当に楽しかったですし、自分の成長も感じる事ができました。自分の課題が見つかったことと素敵な人たちに会えたこと、本気で取り組めたことから心に残るアクティビティとなりました。



i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 法学部 1 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

以前から留学に興味をもっていました。新型コロナウイルス感染症の拡大により渡航が難しい状況となってしまったため、オンライン留学に参加しようか考えていたときにこのプログラムを発見し、自分の目的にあっていると考えたため参加を決めました。

参加前にクラス分けのために TOEFL などのスコアの提出と 10 分程度のインタビューがありました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

3 週間の授業はすべてオンラインで実施されましたが、Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いて参加者同士で話し合ったり、クラス全体に発表したり、クイズをしたりしました。ただ先生の話聞くのではなく生徒側が発言する機会が多かったです。対面での授業に参加しているような感覚で授業に臨むことができました。

授業後のアクティビティとしてはオーストラリアの文化や歴史、英語の発音、オーストラリアの音楽に関するワークショップに参加しました。

また、Online Conversation Partner Program や Visitor Session というモナシュ大学で日本語を学んでいる学生と交流するプログラムにも参加しました。授業内ではオーストラリアの学生と交流する機会はほぼなかったため、彼らと会話をすることができ、実際に海外に行ったことがない私にとって貴重な体験となりました。また、これらのプログラムでは英語と日本語をどちらも用いたため、わかりやすい日本語を話す難しさや日本の文化や日本語に関して、普段日本人である私が当たり前のこととして受け入れていることを改めて言葉で説明する難しさを実感しました。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

自宅からすべてのアクティビティに参加しましたが、私はインターネットの接続で大きな問題が起きることは特にありませんでした。しかし、授業やその他のアクティビティ内で先生や他の生徒のインターネット接続状況が一時的に悪くなってしまって画面が固まったり、音がうまく聞こえなかったりすることは時々ありました。また、モナシュ大学は主に Google のアプリケーションを用いて授業を行っていたのですが、研修が始まったばかりの頃

は慣れていなかったなので素早く操作ができず手間取ってしまうこともありました。

オーストラリアと日本の時差は1時間しかなかったため、時差を問題に感じることは特にありませんでした。健康管理に関しても特に問題はありませんでした。

話し合いの際に声が聞き取りにくい状態だと話し合いに支障が出てしまうため、静かな環境としっかり機能するイヤホンやヘッドホンを準備することは気をつけていました。

4. 研修を終えて感じること&研修申込を考えている学生へのメッセージ

オンライン留学は授業を自宅で受けることができるため、今まで海外に行ったことがない人でも慣れない食べ物などで体調を崩す心配がないことや外国への渡航費が必要ないことから、私のように今まで海外に行ったことがない人でも参加しやすい留学だったと感じています。また、授業の形式が生徒側から積極的に発言・参加できるように工夫されているため、オンラインですが、ただ話を聞くのではなく授業に参加しているという感覚を味わうことができると思います。

海外渡航をする留学の経験がないため比較することはできませんが、私はこのオンライン留学に参加してよかったと感じています。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	120000 円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	80000 円	
計	40000 円	

6. 自由記述欄

授業以外のアクティビティとして私にとって最も印象的だったものは Online Conversation Partner Program というモナシュ大学で日本語を学ぶ学生と日本語と英語を交えて1対1で会話をするプログラムです。最初は1対1でうまく会話ができるのか不安で緊張していましたが、実際に話してみるとオーストラリアの生活について知ることができたり、お互いに日本語と英語のわからないことを教えあったりすることができたため、非常に有意義な時間になっていると感じています。このプログラムはモナシュ大学の授業が終了した後も続くため、今後も楽しみながらオーストラリアに関する知識を深めたり、語学力を磨いたりしていきたいと考えています。来年もモナシュ大学が同様のプログラムを開催されるとしたら、ぜひ他の方々にもこのプログラムに参加してほしいです。

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 文学部 1 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募したのは、高校時代、コロナのために留学機会を逃したことが大きな理由です。オーストラリアへの留学予定だったので、今回の研修に非常に魅力を感じました。また英語を話す人々と自分の言葉でコミュニケーションをとれるようになりたい、と考えていたので、英語で話すことに慣れるための良い機会だと思い、申し込みました。

申込の手続きは、数回行われた説明会や事前授業で、その度に説明があったので忘れずに行うことができました。不明点に関して、メールで問い合わせるとすぐに返事を頂きました。

語学対策は、英語の音に慣れるために洋楽を聴くようにしていましたが、歌と会話ではスピードや音の切れ目も違っており、あまり有効ではなかったように感じます。ニュースなどの話を聞く方が良いと思いました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

授業内容は環境に関するものでした。衣服を生み出す過程で森林を破壊していたり、ミツバチが人間の生活を支える大きな要素であったりと、多くのことを知ることができました。またオンラインでの人との関わり方や、協働する上での動き方なども学ぶことができ、非常にためになりました。自分の行動に結びつけて、変えられるところは変えていきたいです。

先生が主催するワークショップにはほとんど参加しました。発音ワークショップでは、強調する箇所やどんなリズムでの発音になるのかを教えていただきました。歌詞から意味を読み取るワークショップでは、あるフレーズについて、時代背景などを絡めた意味などを教えていただきました。どちらもブレイクアウトルームで数人に分かれて考える、という方式でした。そこでは自己紹介や軽い会話をして、賑やかな雰囲気でした。歌の方のワークショップは最後に全員で歌うという流れで、とても楽しかったです。

Monash Japanese Club が主催する会話セッションにも参加しました。自分の性格を考えた後に、ランダムでブレイクアウトルームに割り当てられ、性格などから共通点を見つけつつ二人で会話をする、という流れでした。同じ人に当たることがないように配慮してくださっていたのがありがたかったです。ただ私の場合は日本の学生と当たることが多く、Monash

の学生とはほとんど話すことが無かったので少し残念でしたが、会話しただけで連絡先を交換することができました。とても実りの多い時間になったと思います。

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

オンライン環境は、自分に関しては特にトラブル無く終えることができました。先生の映像や音声止まることありましたが、zoomに入り直すなどの対応が早くて、あまり不便には感じませんでした。他の学生さんにも接続が悪くなる場合がありましたが、招待し直すなど、不利にならないように取り計らってくださっているのが分かりました。

時差も、日本とオーストラリアでは1時間ほどということで、隔たりは感じませんでした。ただ、午前と午後で2時間ずつ座り続けていることに少し疲労を感じました。椅子にクッションや座布団を準備しておく必要があると思います。また授業中に席を立たなくて済むように、手の届くところに十分な飲み物を用意してあるといいなと思いました。

4. 研修を終えて感じること&研修申込を考えている学生へのメッセージ

研修を終えて、非常に貴重な経験をする事ができたと感じています。日本にいて英語で話す機会が無いので、英語を聞いて話すという今回の研修は、今後の自分にプラスになると思っています。同じ授業を受けている日本の学生でも、ネイティブのように自然に話す人も多く、自分の目標が明確な形になったように感じます。交換留学を考えているので、そのモチベーションにもつながっています。

英語に触れたいと少しでも感じている方は、ぜひ参加していただきたいです。先生も生徒も優しく、自分の意見を否定せずに議論してくれるので、英語で話すことに抵抗が無くなっていきます。日本の授業でも、積極的に参加しようという気持ちになることができるとおもいます。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	128000円	
その他（通信費など）	0円	
奨学金・協定校割引	80000円	
計	48000円	

6. 自由記述欄

授業内で、ロールプレイングゲームもやりました。英語のアドリブなので難しかったですが、終始笑っていました。

Role-play

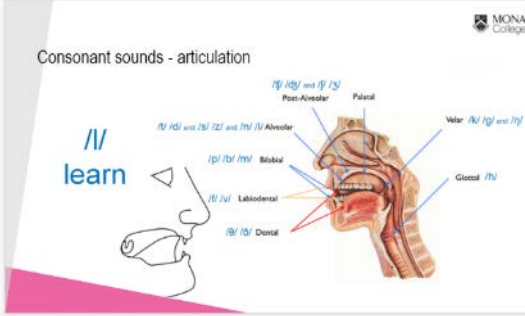
- There are 4 scenarios
- You have 3 minutes to network and 1 minute to reflect on how you went with your partner
- You should alternate roles after each role-play (E.g. Student A will begin the first discussion (in a lift), Student B will initiate the second discussion (at a conference), etc.)
- We will have an open-class discussion after each reflection



The image shows four scenarios for role-play: 'in a lift', 'At a conference', 'At an industry visit', and 'In the lunchroom'. Each scenario is accompanied by a small photograph of people in a professional setting.

発音ワークショップで使用されたスライドです。舌の位置など詳しい図付きで教えてくださいました。また、写真は無いですが、先生が zoom 上でバナナになっていたのもとても面白かったです。

Consonant sounds - articulation



The diagram illustrates the human vocal tract with labels for various articulation points: Post-Alveolar, Palatal, Velar, Glottal, Labiodental, and Dental. It also shows the placement of the tongue for different sounds. The word 'learn' is written in blue on the left side of the diagram.

/l/ /d/ (stop) – released in a burst
/s/ /z/ (fricative) partially block air but let some through
/n/ (nasal) released through nose

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 医学部 1 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

大学入学前から海外活動に興味があり、将来海外での医療支援に興味がありました。特に自分の専門分野の研究の進んだオーストラリアに興味があり応募しました。オンライン留学のため、複雑な手続きやパスポートの準備はする必要はありませんでした。語学対策に関しては、図書館や海外留学室で IELTS のテキストを借りて準備しました。また、アクティビティの話す話題になるような自己紹介や日本文化の紹介などを英語でできるように練習しておきました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

授業はディスカッションが中心で、小グループであらゆるシチュエーションのストーリーを考えて演技を披露したり、意見を交換したりする中で、効果的な話し方や反応の仕方・文化の違いを学びました。スピーキング以外ではリスニングで状況把握やアプリケーションを利用してゲーム感覚で単語を習得しました。ライティングやリーディングよりスピーキングやリスニング中心で常に英語を発しているという印象でした。

授業外のアクティビティはとても豊富で、モナッシュの学生が主催するクラブ活動やモナッシュカレッジの英語の発音のワークショップ、各国の学生がそれぞれの興味のある分野について行っている活動があり、毎日数個のアクティビティに参加しとても充実しました。どのアクティビティも 2~4 人の小グループに分けられる時間があり、他国の人と会話できる機会が豊富にありました。英語のワークショップでは音楽を歌ったり、ゲームで競い合ったりしながら学べて楽しめました。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

オンラインの授業だったので、ネット環境が整ってないととても焦ります。私も何度か授業中や自分の発表中に接続が切れてしまうことがあり大変でした。また、zoom を閉じるとクラスメートとの連絡がとりづらく、課題や再開時間の確認などがしにくかった点が不安が多かったです。

時差は 1 時間であまり生活に影響はなかったです。

4. 研修を終えて感じる事と&研修申込を考えている学生へのメッセージ

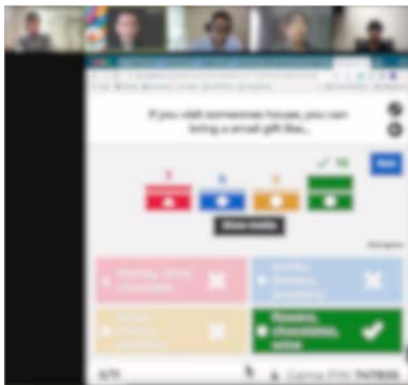
最初は不安やためらいであまり積極的に発言できなかったけど、カタコトでも話してみることによって相手は理解しようとしてくれたり質問してくれたりなど雰囲気がとても温かく、もっと話したいと思うようになりました。また自信を持って積極的に参加することで楽しんで活動でき、自信にもつながると思い聞き手の重要さも実感しました。

日本人は棒立ちで会話してしまうが、現地の学生は全身で反応したり伝えようとしていたりしていることが印象的で文化の違いを感じました。このプログラムを通して語学力以上のものを身につけられたと思います。この経験を生かして、効果的なコミュニケーションや主体性を向上させたいと思いました。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	1,865 オーストラリアドル	
その他（通信費など）	0 円	
計	1,865 オーストラリアドル	

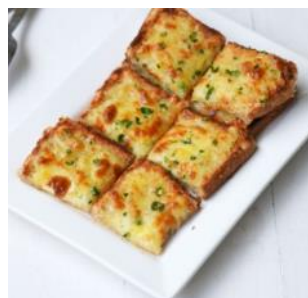
6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。



⇨kahoot で異文化についてのクイズに挑戦

・Cooking Club

Chilli Cheese Toast⇨



MONASH College

Join Dakshi and cook together "live" at the Cooking Club
this Thursday 26 August @ 3pm (AEST).
[Don't forget to buy the ingredients here.](#)

BAKED FETA & TOMATO TIKTOK PASTA

Ingredients:

- 500g cherry tomatoes [the sweeter the better]
- 1/3 cup olive oil
- 250g soft feta [Kasseri/Danish]
- 250g pasta of your choice
- 2 garlic cloves or 2 tsp minced garlic
- condiments:** [optional] chili flakes, pepper, smoked paprika
- You can add chorizo, bacon, pancetta, cooked chicken, olives, lemon zest**
[optional for more flavour]
- Handful of fresh basil to garnish



⇨TikTok Baked Feta & Pasta

i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月

所属 | 医学部 3 年生

研修先大学 (国名)	Monash College (オーストラリア)
研修プログラム名	Global Communication for Future Leaders
研修期間	2021 年 8 月 9 日 (月) ~ 8 月 27 日 (金)

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

英語を実際に使う場面がなく、自分の英語力を維持・向上させるためにはこのような留学機会を得る必要があると思い、応募しました。このプログラムへの参加が決まってからは毎日英語のニュースや Monash から送られてくる記事の音読をしていました。毎回必ず知らない単語が複数あるのでそれらを調べ、語彙を増やす努力をしていました。

2. 研修内容 (授業の内容と感想、参加したアクティビティやワークショップ、学生交流など)

スピーキング、ライティングが特に苦手な自覚があるので授業の中では積極的に発言することや、作文を求められたときはあまりシンプルな文章にならないようにするなど努力しました。はじめは間違えることに抵抗がありましたが、参加者や先生はみな間違いに寛容で非常に話しやすい環境でしたので、途中からは臆せず発言することができるようになりました。日本の学生だけでなく中国や韓国の学生もおり、それぞれの文化の話を書くこともできたので非常に有意義でした。

また講義以外にも複数のアクティビティに参加し、教科書では学ぶことができないような英語のスラングを教えてもらったり、オーストラリア現地の学生と交流をして人脈を広げることができました。現地の学生との交流ではオーストラリアの文化について異文化理解が深まったのはもちろんのこと、日本について紹介するために調べ物をするので自国文化への理解も深めることができました。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

オンラインでの履修に関して特に困ったことはありませんでした。通信環境も問題なく、先生はたくさんの資料を用意してくださっているので教材も十分でした。

Google スライド等初めて使うツールに少し戸惑うことはありましたが、すぐに慣れることができました。

授業資料を写す画面と Zoom のビデオでお互いの顔を見るための画面とあった方が良く思うので、可能であればパソコン一台よりは複数画面用意した方が他の受講生の反応も見ながら快適に受講できると思います。

4. 研修を終えて感じる事と&研修申込を考えている学生へのメッセージ

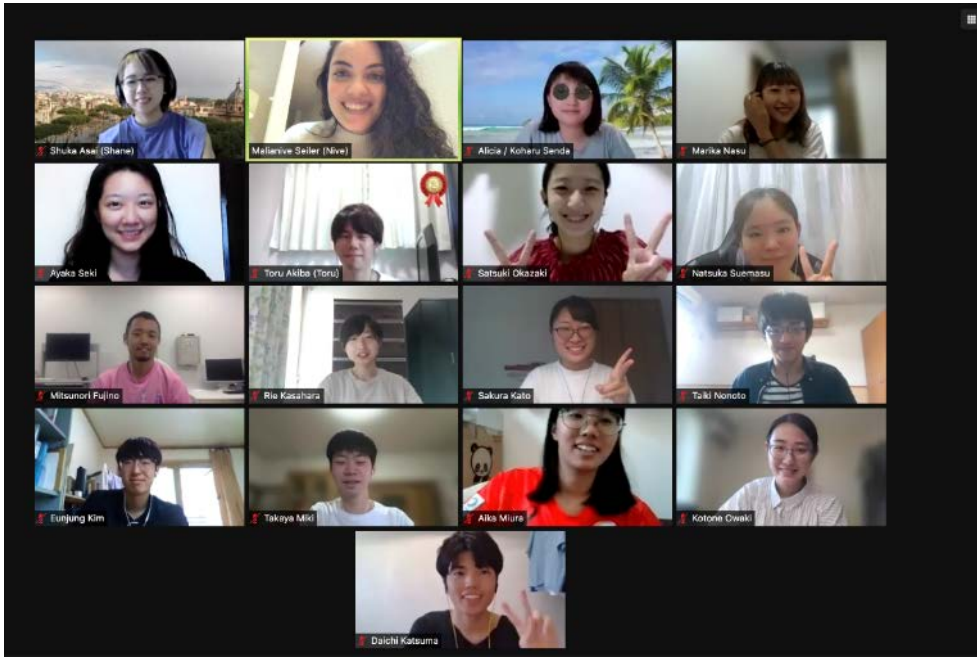
今回の3週間の研修はあっという間でした。クラスが毎週変わることもあり、毎週新鮮な気持ちで参加することができました。自分のひとつの課題だった発言力に関してはこの3週間でかなり改善することができたと思います。温かい雰囲気の中のびのびと発言できますし、ブレイクアウトルームに分かれて作業する場面が多く、協調性も成長させられます。自分の実力に自信がない、すべて英語で行われる授業についていけない自信がないという人も多いと思いますが、迷ったら参加する方がいいと思います。私は Advanced クラスになりましたが、とても不安でした。しかし、単語テストやクイズが十分用意されているのでそれほど心配しなくて大丈夫です。付いて行こうと勉強することに一番意味があると思うので、ぜひ申し込んで欲しいです。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	120000 円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	円	
計	120000 円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

私が通っていた小学校がオーストラリアの学校と姉妹校でした。その話を授業でした際に、先生がその学校の近くに住んでいたことがあるとわかり、とても盛り上がりました。またその時のホストファミリーの子が Monash College に通っていると言っていたのもしかして会えるかもしれないと思いましたが流石にそれは叶いませんでした。毎週先生もクラスメイトも変わるというのはかなり新鮮でしたが、どこも温かい雰囲気を楽しむことができました。せっかくなたくさん連絡先を交換したので COVID-19 が落ち着いたら同窓会のようなことができたらいと思います。



i 留学 研修報告書

記入 | 2021 年 9 月
所属 | 経済学部 1 年生

研修先大学 (国名)	Monash 大学 (オーストラリア)
研修プログラム名	GCFL
研修期間	3 週間

1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

大学生になったら留学をしたいと考えており、そのために英語のスピーキング力をつけたいと思ったことがきっかけ。また長い夏休みに何か興味のあることに挑戦したいと思ったこともきっかけの一つ。申し込みの際、動機や研修の目標についての作文を提出した。

2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

月曜日から金曜日、日本時間で 9 時から 14 時 (1 時間昼食休憩あり) 3 週間の授業を受けた。ブレイクアウトルームに分かれて話し合ったり全体で意見を発表したりする機会が多かった。1 週間ごとに一緒に授業を受ける生徒が変わり、1 週間に 1 度少人数でディベートをしたためそれに備えて自主的に調べた。授業内容は、オンラインでの学習や仕事、SDGs など世界共通の問題や自分たちの将来についてなど、どれも興味深かった。日本人が多く、他に中国人や韓国人と一緒に勉強をしたが、英語を使って話したため英語力の向上に大いに役立ったと感じる。他の参加者の英語を使う様子から、自信を持って話すことなどを学ぶことができた。

3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

パソコンを長時間みているため休憩時間に外に出たり、リラックスしたりすることが大切だと感じた。なにか趣味や生活の様子が分かる写真を紹介しあう時間が数回あったので見せられる写真を撮ることは大事だと思った。

4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

この研修を通して英語でコミュニケーションをする経験ができるだけでなく、英語を学ぶモチベーションをあげることができた。この 3 週間参加者の将来の夢や興味のあることを交流の中で知ることができ、自分の将来について考える良い機会になった。日本の学校での授業とは違った環境で新たなことが学べると思う。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	122000 円	
その他（通信費など）	円	
奨学金・協定校割引	800000 円	予定
計	402000 円	